

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年12月11日 (2014.12.11)

【公表番号】特表2013-545843(P2013-545843A)

【公表日】平成25年12月26日 (2013.12.26)

【年通号数】公開・登録公報2013-069

【出願番号】特願2013-540012(P2013-540012)

【国際特許分類】

C 1 0 L 1/04 (2006.01)

F 0 2 K 9/42 (2006.01)

C 1 0 L 1/12 (2006.01)

【 F I 】

C 1 0 L 1/04

F 0 2 K 9/42

C 1 0 L 1/12

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月24日 (2014.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 0 】

本明細書に記載した方法および装置を特に示し、その例示の実施形態を参照することによって記載したが、当業者によって形式および詳細のさまざまな変更が行われ得ることを理解されたい。

なお、本発明は、実施の態様として以下の内容を含む。

〔 態 様 1 〕

ロケット推進薬を製造する方法であって、少なくとも 2 種の炭化水素流体を組み合わせたことを含む方法。

〔 態 様 2 〕

態様 1 に記載の方法において、前記ロケット推進薬が、R P - 1 規格を満たすことを特徴とする方法。

〔 態 様 3 〕

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体の、A S T M D - 1 2 9 8 で測定した比重が、6 0 で 0 . 7 6 0 ~ 0 . 8 2 5 であることを特徴とする方法。

〔 態 様 4 〕

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体の、A S T M D - 1 2 9 8 で測定した比重が、6 0 で 0 . 7 9 0 ~ 0 . 8 1 であることを特徴とする方法。

〔 態 様 5 〕

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体の、A S T M D - 5 6 2 3 で測定した硫黄濃度が、3 p p m 未満であることを特徴とする方法。

〔 態 様 6 〕

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体の、A S T M D - 1 3 1 9 で測定した芳香族化合物含有量が、1 v o l % 未満であることを特徴とする方法。

〔 態 様 7 〕

態様 6 に記載の方法において、前記炭化水素流体の、A S T M - 1 3 1 9 で測定した芳香族化合物含有量が、0 . 0 1 v o l % 未満であることを特徴とする方法。

[ 態様 8 ]

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体の、ASTM - 1319 で測定したオレフィン含有量が、0.1 vol % 未満であることを特徴とする方法。

[ 態様 9 ]

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体の、ASTM D - 3343 で測定した水素含有量が、13 ~ 15 wt % であることを特徴とする方法。

[ 態様 10 ]

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体の、ASTM D - 93 で測定した引火点が、130 ~ 225 °F であることを特徴とする方法。

[ 態様 11 ]

態様 1 に記載の方法において、前記ロケット推進薬の、ASTM D - 3343 で測定した水素含有量が、14.25 ~ 15 wt % であることを特徴とする方法。

[ 態様 12 ]

態様 11 に記載の方法において、前記ロケット推進薬の、ASTM D - 3343 で測定した水素含有量が、14.8 ~ 15 wt % であることを特徴とする方法。

[ 態様 13 ]

態様 1 に記載の方法において、前記ロケット推進薬の、ASTM D - 240 で測定した真燃焼熱が、18,500 BTU / lb 超であることを特徴とする方法。

[ 態様 14 ]

態様 13 に記載の方法において、前記ロケット推進薬の、ASTM D - 240 で測定した真燃焼熱が、18,500 ~ 19,000 BTU / lb であることを特徴とする方法。

。

[ 態様 15 ]

態様 1 に記載の方法において、前記ロケット推進薬の、ASTM D - 1298 で測定した密度が、15 で 0.799 ~ 0.815 であることを特徴とする方法。

[ 態様 16 ]

態様 15 に記載の方法において、前記ロケット推進薬の、ASTM D - 1298 で測定した密度が、15 で 0.799 ~ 0.815 であることを特徴とする方法。 [ 態様 1

7 ]

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体の少なくとも 1 種が、イソパラフィンから構成されることを特徴とする方法。

[ 態様 18 ]

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体の少なくとも 1 種が、ノルマルパラフィンから構成されることを特徴とする方法。

[ 態様 19 ]

態様 1 に記載の方法において、前記ロケット推進薬の、ASTM - 1319 で測定した芳香族化合物含有量が、0.01 vol % 未満であることを特徴とする方法。

[ 態様 20 ]

態様 1 に記載の方法において、前記炭化水素流体のいずれも、RP - 1 規格を満たさないことを特徴とする方法。

[ 態様 21 ]

態様 1 に記載の方法において、前記ロケット推進薬が、粉末金属をさらに含むことを特徴とする方法。

[ 態様 22 ]

態様 21 に記載の方法において、前記粉末金属が、アルミニウムであることを特徴とする方法。

**【 手続補正 2 】**

**【 補正対象書類名 】** 図面

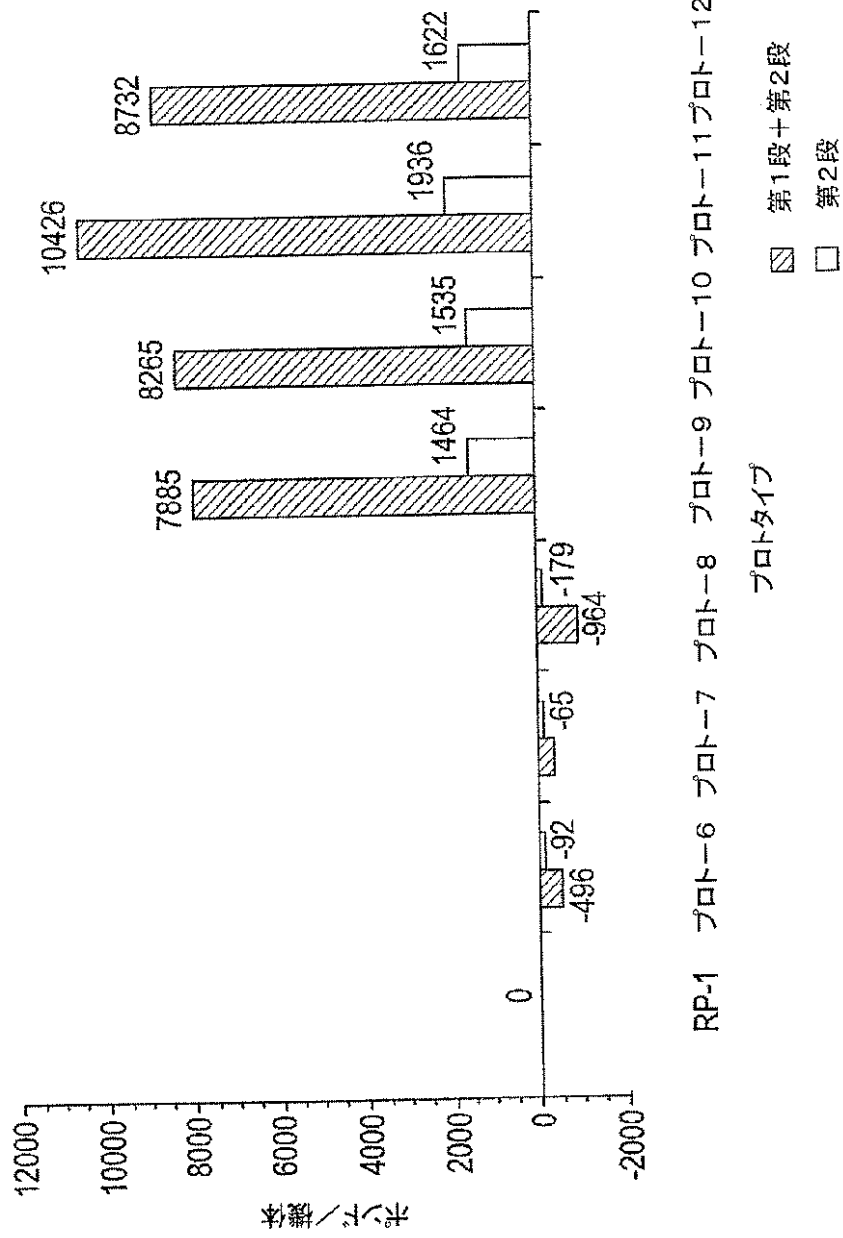
**【 補正対象項目名 】** 図 8

**【 補正方法 】** 変更

【補正の内容】  
 【図 8】

# FIG. 8

RP-1に対して減じた重量



RP-1 プロト-6 プロト-7 プロト-8 プロト-9 プロト-10 プロト-11 プロト-12

プロトタイプ

第1段+第2段  
 第2段